

## 祝！同窓生が沖縄県保健医療部統括監に就任

## 「現役人生は長いです」

沖縄県保健医療部 保健衛生統括監 国 吉 秀 樹（4期生）



同窓生の皆さまこんにちは。この度、蔵下要会長から原稿のご依頼をいただき、「南風」に書かせていただくことになりました。光栄に思います。日頃は同窓会の活動にほとんど参加できておりませのでたいへん恐縮ですが、ご海容下さい。

さて、沖縄県では、平成26年4月に組織が再編され、新しく保健医療部ができました。そして、私はこの部の最初の保健衛生統括監に就任することになりました。統括監というのは、以前は次長と呼ばれていた職で、各課を統括し、部長を補佐する役割を担っています。部長の代理を務めることもありますので、なかなか緊張感があります。もうすぐ県議会の6月定例会が開会されますが、本会議場のマイクの使い方レクチャーを受けたときは、一気にリアリティが増しました。

今年度の保健医療部のミッションは2つあります。それは「健康長寿県復活への道筋をつけること」と「安定的な医師確保」です。知事からも厳命を受けています。技術行政という面では私が責任者の立場になりますので、関係各方面と連携を取りながら、間違いのないように勤めていかなくてはなりません。同窓生の皆さまとも様々な情報交換、意見交換の機会があると思われますので、そのときは是非とも沖縄県のためにお知恵をご提供下さい。具体的には、幾つもありますが、離島や北部地区の医療の確保のために力を貸してくれる医師に関する情報、地域医療に力を注いでくれる琉大出身の医師の養成などです。女性医師のフレキシブルな働き方についてのご相談もいただきたいと思いますし、私のような仕事をしていただく公衆衛生医師の有意な人材の確保にもお力をいただきたいと思います。

書いていることはお願いばかりですが、皆さま方からの課題解決のお役に立てることもあるかもしれませんので、良い連携が取ればほんとうに幸甚です。

思い返せば平成2年の琉大卒業、平成4年の中部病院の内科臨床研修修了を経て沖縄県に採用になりました。最初の職場は宮古保健所でしたが、初めていただいた給与が予想以上に少ないと思っ

たこと（笑）と、「おお、私はあと36年も行政で働くのだな」と嘆息したことを覚えています。その頃思い描いていたゴールは（当時の）環境保健部の部長として沖縄県の保健医療に関わることでした。21年が過ぎようとしている今、どうやらそれに近い立場になってしまいましたが、統括監としてまだこれといった仕事をし、成果が得られたわけでもありません。今からがんばっていこうと思います。もうあと15年の時間しか残されていませんが、できることは何とかやっていきたいものです。

ここ3～4年、貴誌をはじめ、医師会等の会報に拙稿を掲載いただく機会が何度もありました。私は宮古保健所を振り出しに八重山以外の保健所で長年所長ではない医師として勤務してきました。それが、平成23年に県健康増進課長になり、2年たったと思ったら那覇市の中核市移行に伴う保健所設置のために初代の所長として県から出向したかと思えば、基礎を整える道半ばのたった1年で、思いがけずこの度県庁に戻るとい、矢継ぎ早とも思えた異動がありました。公務員ですので、知事の命令に従うことは当然ですが、私だけでなく、周りの皆さま方からもご心配、あるいはご期待をされ、原稿をご依頼いただいたと思っております。これからも、琉大出身者としての誇りを失わず、日々仕事をできればこの上ない満足です。

最後に、いただいた字数に若干の余裕がありますので、ひとつ小話を。

私は実は首里高校で蔵下要会長と同期であります。当時はクラス対抗での野球がはやっておりまして。私も主にキャッチャーとして参加したのですが、蔵下会長はピッチャーでした。しかも変な下手投げ（失礼）。

皆さま、これからもよろしくお願いします。

